

来年の第34回「宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)」は、私ども福岡県で開催されます。大変喜ばしく、心から歓迎いたします。

令和2年9月、福岡県は、今回のISTSの開催地である大分県とともに、国から宇宙ビジネス創出推進自治体に選定されました。

福岡県には、世界最高レベルの超小型人工レーダー衛星の打ち上げに成功したQPS 研究所をはじめとする宇宙ベンチャー、優れた技術を持つものづくり企業、ユニークな新ビジネスを生み出すITスタートアップが集積しています。

また、JAXA 宇宙飛行士の若田光一さんやQPS 研究所を輩出した九州大学、小型衛星の打ち上げで世界一の実績を誇る九州工業大学をはじめとする、宇宙分野の研究に力をいれている大学・研究機関も立地しています。

さらに、次回開催地である久留米市は、ゴム、自動車など多様な産業が集積する県内有数のものづくりの拠点です。先ほどご紹介したQPS 研究所の衛星開発も、久留米市を中心とした県南地域の多くのものづくり企業が支えています。

私は、「世界から選ばれる福岡県」の実現を目指し、新たな成長産業の創出に取り組んでいます。

「宇宙ビジネス」もその中のひとつと位置づけ、県内ものづくり企業によるロケットや人工衛星などの宇宙関連機器の開発や、衛星データを活用した新たなサービスの創出への支援を行っています。

さらに、来年度から新たに、福岡県発の宇宙食開発にも取り組んでまいります。

福岡県と久留米市は、昨年6月、西日本で唯一、国の「地域バイオコミュニティ」第1号に選定されました。バイオ産業の中でも、特に、「機能性表示食品」の開発に力を入れており、その認定件数は東京、大阪に次いで全国3位です。こうした強みを活かし、機能性を有した宇宙食の開発にも力を入れてまいります。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックが続いておりますが、この苦難を共に乗り越え、来年、皆様と久留米市でお会いできることを心から楽しみにしております。皆様のお越しをお待ちしております。

